

加藤 愛太郎 研究室

理学系地球惑星



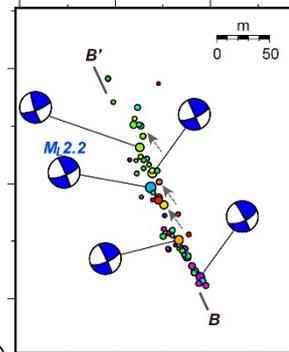
教授 加藤愛太郎

【研究の概要】

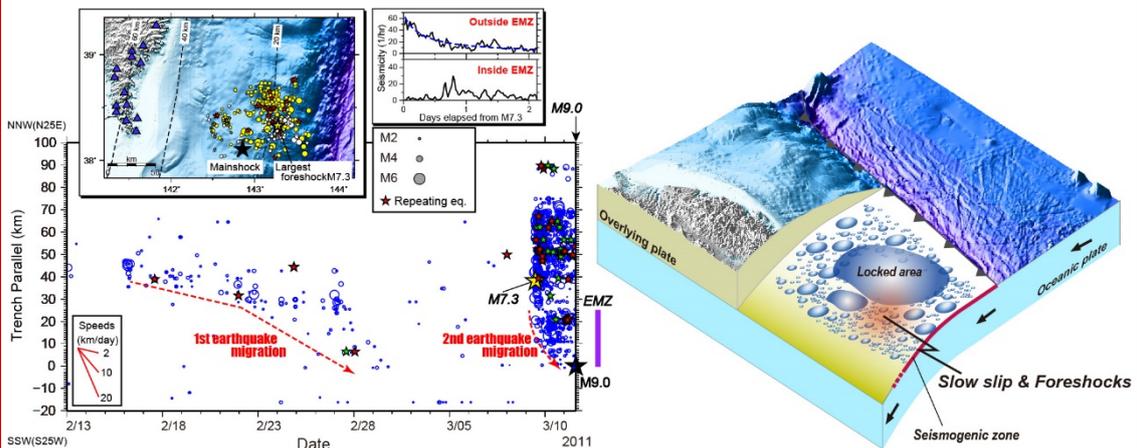
- ◆地震発生の仕組みに関する研究
- ◆スロースリップと地震発生について
- ◆地震・低周波地震の活動特性の把握
- ◆地震検出・高精度震源決定・構造推定

研究室のメンバー(2020/04)

石瀬素子(研究員), 栗原亮(研究員)
上田拓(D2), 山名祐輝(M2), 横谷直人(M2)



地震が発生する仕組みはとて複雑です。当研究室では、地震観測に基づいて地震発生過程の理解を深めるための研究を進めています。国内外で発生した大きな地震の前に観測された地震活動（前震活動）の解析や、高密度・多点の地震観測網を展開して取得した大容量の地震波形データの解析等を行っています。例えば、地震活動の検出性能を向上させることで、2011年東北地方太平洋沖地震(M9.0)の発生前に、本震の震源近傍でスロースリップが2回発生していたことを見出し、巨大地震の発生を促進した可能性を指摘しました（下図）。さらに、2014年チリ北部地震(M8.2)や2016年熊本地震(M7.0)の発生前にも類似の現象が起きていたことを明らかにしました。現在、当研究室の学生と一緒に、地震活動に季節的な変動性が見られること、前震の活動解析、中小地震の破壊パラメータ（断層の大きさ、破壊伝播速度等）の推定、などに取り組んでいます。



地震に生起する様々な現象を多面的な観測研究により、地震発生過程の理解を深めるために研究を行っています。地球内部で進行する未知の地震現象を探索してみませんか？興味のある方は、お気軽にご連絡下さい。研究室の見学等、歓迎します。

Tel: 03-5841-8252, E-mail: akato@eri.u-tokyo.ac.jp, 居室：地震研究所1号館609号室

HP: <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/KOHO/STAFF2/akato.html>